

授業科目名 <英訳>		ベンチトレーニングコース On the Bench Training Course				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 原田 浩二			
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	金3,4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

【授業の概要・目的】

I. コースの概要

行政機関・化学工業における中毒学専門職として必要なGLP の実践を行ないます。 Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用した環境汚染物質研究のprotocol writing, presentation, protocol meeting, sample collecting, sample measurement, audit, paper writing, review を実習します。

【到達目標】

II. 学習到達目標（このコース終了時までには習得が期待できること）

- ・ Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用することができる
- ・ 文献等を調べて研究テーマの背景を説明できる
- ・ GLPに基づいてプロトコルを書くことができる
- ・ 明らかにすべき事柄に対する研究手段を選択することができる
- ・ GLPに基づいてプロトコルをpresentationすることができる
- ・ GLPに基づいて実験結果をまとめることができる
- ・ GLPに基づいて研究結果をpresentationすることができる
- ・ 研究成果を論文にまとめることができる

【授業計画と内容】

- 第1回 Orientation
- 第2回 Gas Chromatography 24-1, 24-2, 24-3
- 第3回 Gas Chromatography 24-4, 24-5
- 第4回 Mass Spectrometry 22-1, 22-2
- 第5回 Mass Spectrometry 22-3, 22-4
- 第6回 Discussion of theme
- 第7回 Presentation of background
- 第8回 Protocol Writing
- 第9回 Protocol Presentation
- 第10回 Sample collecting
- 第11回 Sample measurement (1)
- 第12回 Sample measurement (2)
- 第13回 Summarize the data
- 第14回 Presentation the data
- 第15回 Writing Paper

ベンチトレーニングコース(2)へ続く

ベンチトレーニングコース(2)

【履修要件】

MPH選択

産業・環境衛生学、中毒学入門が履修済みで、中毒学を受講していること

【成績評価の方法・観点及び達成度】

Attendance and active participation 50%, Presentation 50%

【教科書】

Handouts

1.Code of Federal Regulations ICH Guideline

2.Quantitative Chemical Analysis 6th edition Daniel C. Harris, W. H. Freeman and Company, 2003

【参考書等】

(参考書)

【授業外学習（予習・復習）等】

III. 教育・学習方法

- ・ 講義
- ・ 小グループ学習

（その他（オフィスアワー等））

その他メッセージ

Credits of “ Introduction to Toxicology ” and “ Occupational health and environmental health sciences ” simultaneous registration of “ Toxicology ” are required.

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限 3 人まで可能

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。